



小名濱測候所 週報 最低温度 最高温度 平均温度

座講識 件の捏造または犯人製造、無罪の訴へて人を罪に陥れることなど、

第一警炭灰葉狩 石城郡警務所藤原の三井炭灰が水没後の復活を遂げ警炭灰

半精神病の無 伊達郡立子山村大字若の内生

鐵道の慰安會 鐵道の現業従事員慰安會は來

中堅農講植田 石城郡中堅農講同窓會植田支

見學旅行 十一月一日自動車 經國聯盟の 縣下町長會

郡藥組合の創立

縣藥支部の臨時總會

明後二十八日平署會議室で 終つて五時から懇親會

石城郡下藥業家が相結ぶ商業 協會總會に對する提案の協議 組合法による藥業組合の創設 及び私設藥品巡視制の決定を は展報の如く委員の手で諸規 約を起草中であつたが去月二 十三日平町マルトモ右關係 役員會を開き愈よ來る二十八 日午前十時平署會議室に於て 創立總會を舉行される筈で定 款の決定及び役員選舉その他 を附議決定されるが當日午後 一時から引續いて縣藥協會石 城支部の臨時總會を開催來る 十一月中旬郡山市に開く縣藥 盛會である

管下の火災損害

六ヶ年で卅五萬圓

此の度数が百二十回で 住非住家二百三十棟

平署では火災期節に臨み各消 防組と協力起さざる前の注意 に努めてゐるが同管下の火災 は近年漸く減少をたどり既往 六ヶ年間の度数を上げれば

年	住家	非住家	計
五年	一一一	一八	一二九
六年	一一九	二二	一四一
七年	一一六	一六	一三二
八年	一一一	一三	一二四
九年	一一一	一五	一二六
十年	一一〇	一〇	一二〇

本年一月から九月に於ける 十回の火災損害三萬一千六百

防火運動と秋季檢閲

平署管下の組頭會

秋は適當な方部聯合で施行 今日署の會議室で打合せ

平署管下四町十八ヶ村の消防 組頭會は今日二十六日午後一時 から同署會議室に開催來る十一 月五日縣下一齊に行はれる防 火運動及び管内消防秋季檢閲 の期日並に方法を協議打合せ の結果従來秋季は各組毎に行 つた檢閲を本年は適當な方部 聯合を以て施行することに決 し尙ほ左記の諸項を附議した 注意事項火災警防 組員統 制 機械器具の保存手入 ガソリン石油類に對する火 災警防 消防組員の選舉備 正に記念事業寄附金 協會 費納入等に關する諸件

湯本の湯湯計劃

勝行院裏山から斜坑掘鑿

石城郡湯本町で温泉復活のため 苦心計畫中であるが同町入 山探炭所所長大貫技師の調査 指導に基づき昨二十五日町役 場にて區會を開き工費七萬五千 び二十四度の傾斜で三百七十間

經國聯盟の 見學旅行

十一月一日自動車 經國聯盟警務支部員の茨城縣 那珂郡磯の大洗なる常陽紀念 館及び井上日召師の護國堂拜 詣は來十一月三日の豫定であ つたが都合により同月一日に 繰上げ午前正五時平町大森會 長宅集合自動車で出發村松虛 空藏堂から淡華藏院、磯大洗 神社記念館、護國堂、水戸常 盤神社、弘道館、藤田東湖の 墓、太田西山莊を廻り夕刻歸 平の豫定であるが會費は二圓 五十錢(中食付)當日は晴雨に 拘はらず決行す

支部分別品評

石城郡中堅農講同窓會植田支 部主催會員及び町内一般の籍 の坪刈品評會は去る二十一日 午前八時より行はれたが成績 左記の如くである

湯本の人口増加

石城郡湯本町に於ける國勢調 査の結果は現在人口一萬七千 二名で五年前の二萬九千二百 八十八人より一千七百餘を增 加したが同町入山炭礦のみで 八千二百人を算する由

上遠野入遠野の 稻作立毛品評會

石城郡上遠野、入遠野兩村聯 合農會主催稻作立毛品評會は來 る二十七日上遠野村二十八日 入遠野村の審査をなす筈だが 郡農會から柴田技師出張の由 六町長全部出席すると

縣下町長會

縣下町長會は來る二十七日東 白川郡御倉町小學校に於て開 催されるが石城郡から平町外 六町長全部出席すると

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

福島縣稻摺業 者取締規則

第八條 稻摺業者福島縣級 物検査規則所定の包装を爲 さむとする時は同規則所定 の正味量に不足を生ぜざる 様計量するを要す

縣下町長會

縣下町長會は來る二十七日東 白川郡御倉町小學校に於て開 催されるが石城郡から平町外 六町長全部出席すると

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

湯本の人口増加

石城郡湯本町に於ける國勢調 査の結果は現在人口一萬七千 二名で五年前の二萬九千二百 八十八人より一千七百餘を增 加したが同町入山炭礦のみで 八千二百人を算する由

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

福島縣稻摺業 者取締規則

第八條 稻摺業者福島縣級 物検査規則所定の包装を爲 さむとする時は同規則所定 の正味量に不足を生ぜざる 様計量するを要す

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

湯本の湯湯計劃

石城郡湯本町で温泉復活のため 苦心計畫中であるが同町入 山探炭所所長大貫技師の調査 指導に基づき昨二十五日町役 場にて區會を開き工費七萬五千 び二十四度の傾斜で三百七十間

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると

鐵道の慰安會

鐵道の現業従事員慰安會は來 る二十八日平町聚樂館に中野 劇團一座を招聘開催すると



種子消毒 (三)

縣農試與山生

今です麥の 4、稈黒穂病(條黑穂) 本病は小麥のみに寄生し葉片、葉鞘、穂等に發生す、被害部は條狀に長く縦に割れて黒粉を飛散す、被害甚だしきものは葉は亂麻の様に裂けて枯死し穂は畸形を呈して登熟する、

この病菌は菌子及び胞子(子囊胞子及び分生胞子)の形にて被害部につき又は花器播種或は收穫調製の際、種子に附着して生存し種子の發芽と共に子葉葉鞘を侵しこより侵入して本病を起す、又被害株の病菌は麥の新葉に寄生し第二次傳染をなすことがある

1、裸黒穂病、本病菌は麥の開花中柱頭より子葉に侵入し菌糸のまゝ此所に生存するものであるから子葉を播くと發芽すると共に菌糸は生長點に伸びて終に穂に達し、こゝにて黒穂病を起す、子葉は傳染當時には外見意味はないが斯く發芽し生長するに及んで初めて病徴を呈する、本病はかく花器傳染をなすか又種實の損傷する時には種子に附着せる病菌によりても發病する、

る菌子等が種子發芽の極く幼い時代に侵入感染して葉を傳はり上昇して花器に達し此處に堅黒穂を生じそれから飛散する原胞子は再び同一の生活史を繰り返すものである

町屋紺平
藤沼醫院
番七〇五電

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

山野邊藥局

秋の流行洋品御案内
新柄シヨール豊富陳列
ソフト帽とネクタイ多数取揃
優良毛布とパンヤ枕豊富
毛織新型子服とケープマント

お醤油は ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命磐城代理店
山崎與三郎

債券公債 兩替 金融

多田井質店

目科療診

- 一、齒科 一般
保存科、補綴科、齒端加工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿腫科
- 二、口腔 外科
一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 憲次
日本齒科 西川 誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

好評 たる各種優秀藥

- カクレール (三十三日分) 定價 二圓
- 強力驅毒劑 スピロイン (定價 二圓) (五圓 十圓)

平町五丁目角

耳鼻咽喉科専門

鈴木 本 正 男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前

日下家政婦會の
便利で 經濟な

● 派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です

日下家政婦會
會長 日下 すい子
電話(呼)一八九番

入院 應需

明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番

農村の更生振興に
天然加里肥

最も適應する作物!
蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類
瓜菜類ではトマト 茄子の如き比較的病害に強い作物に施用すれば抵抗力を興へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壤を惡化させる虞は絕對にありません

一俵 廿五錢
製造販賣 金成國雅
平町驛田 電話 六八八番

貨物自動車の御用命
に應じます

高久病院
院長 醫學士 高 久 忠
平町田町 電話 五二三番

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一

內科	院長 醫學士 石 山 謙 輔
小兒科	部長 醫學士 藤 尚 廣
外科	部長 醫學士 大 町 久 藏
皮膚泌尿科	部長 醫學士 山 澤 正
性病科	部長 醫學士 山 澤 正
外科	部長 醫學士 大 町 久 藏
皮膚泌尿科	部長 醫學士 山 澤 正
性病科	部長 醫學士 山 澤 正
外科	部長 醫學士 大 町 久 藏
皮膚泌尿科	部長 醫學士 山 澤 正
性病科	部長 醫學士 山 澤 正

高久病院
治癒率 90%
良薬 良薬 良薬
治癒率 90%

マクネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
「治療代」は當分一回三十錢として居りますが、家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九) 日没後は 一丁目自宅(電話四七〇)
醫療士 飯田 近 治